

終息の見えない不安の中で

このたびの新型コロナウイルス感染症により尊い命を失われた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、療養中の皆様にも心よりお見舞いと、一日も早いご回復を念じ申し上げます。また緊迫した状況下で治療に尽力されている医療従事者、社会のライフラインを支えるお仕事に従事されている皆様にも深く敬意と感謝を表します。

現在、新型コロナウイルス感染症予防対策において、本山・別院・各寺院におかれまして、法会・研修・法座・参拝の延期、休止が余儀なくされ、外出を控え、マスクの使用、消毒液、各室換気の対応等、今まで想像も及ばない先も見えない不安や心配の中、人が集まり手をつなぐことを避け、互いに離れることが求められています。

一体この事態をどのような言葉で表せばよいのでしょうか。目に見えないウイルス。その故に、みんなが疑心暗鬼になっていく。しかし、お互いが存在を認め合い、今こそ共に寄り添い支え合い、人と人との「つながり」関係を大切に気づいていかなければなりません。

本山・別院・各寺院が共に法要・法座・仏事が安心して一日も早く、勤めることのできる平穏な日を待ち望みながら、今できることを見つめ、今こそ立ち止まって振り返り、先達の思い・願いをしつかり受け止め、地域と共に寄り添い、助け合い、生かされ歩んだ高田寺院の念仏法灯の伝統の歩みは、正に将来に連なる地域の人々の大切な「つながり」であります。

本山・別院・高田寺院が一層の連携を図り、一人でも多くの檀信徒皆様と共に、念仏高田の宗門の「つながり」御縁へと深めて参りたいと願うところであります。

真宗高田派宗務総長 増田修誠

令和二年五月十五日